

授業科目	社会、経済と企業の統計分析		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	大井 達雄		
実施日・時間	5月13日(金)	18:30~20:50	
	5月14日(土)	10:00~16:00	
	5月27日(金)	18:30~20:50	
	5月28日(土)	10:00~16:00	
	6月3日(金)	18:30~20:50	
	6月4日(土)	10:00~16:00	

#### 【講義内容】

最近のパソコン機能の高度化とインターネットの普及には目を見張るものがあります。その結果、さまざまな場所で簡単にデータを入手し、加工できるようになりました。しかし、このように便利になる一方で、水面下ではさまざまな問題も生じています。例えば、インターネットから入手できるデータは、それがどのような目的で、どのように調査され、どのような現実をどの程度正確に反映しているかどうかについてはあまり検討されないまま、「数値」のみが一人歩きする傾向にあります。

この授業では、このようなデータに対する誤解や誤用を避けるために必要な統計的手法を習得することを目的としています。さらに社会、経済、企業における各分野について、統計データを使用してどのようなことが論じられ、あるいは話題となっているのかを紹介し、最後にパソコンを使った、データの加工や分析を行っていきます。

#### 【実施授業内容】

主な授業内容として、以下の点があげられます。

##### ①統計学の基礎知識の習得

記述統計(代表値、散布度など)、相関・回帰、推定、検定など

##### ②社会、経済、企業に関する各統計調査についての説明

人口動態統計、家計調査、消費者物価指数、労働力調査、法人企業統計調査、GDPなど

##### ③統計分析手法の活用

寄与度・寄与率、ジニ係数・ローレンツ曲線、特化係数、移動平均法など

#### 【テキスト・教材】

(テキスト) 御園謙吉・良永康平 編『よくわかる統計学 II 経済統計編』ミネルヴァ書房、2007年  
適宜、プリントを配布します。また参考書については、講義の中で随時説明します。

#### 【事前学習】

エクセルを使って実際のデータを分析することもありますので、エクセルの四則計算、関数、グラフの作成方法について理解していることが望ましいです。また、平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差などの意味がわかれば、授業内容の把握に役立ちますが、受講生の理解度に応じて、説明するつもりです。